

じんけんコラム(1月)

じんけんコラム ホツと❤️スペース

ひとにやさしい、じぶんにやさしい
あたたかい話題をとどけます！

ワールドカップを通して 平和と人権を考える



4年に1度開催されるサッカーのワールドカップは、世界一と称される巨大なイベントです。前回のカタール大会は、日本が強豪ドイツやスペインに勝利し、決勝戦は全世界で約15億人が視聴するなどして、大いに盛り上がりました。

しかし、熱狂の裏では、スタジアム建設に関して多くの移民労働者が（酷暑や長時間労働等の理由で）死亡したという報道や、カタールの法に基づいた女性や性的マイノリティの人権の制限など、人権侵害に関する様々な課題が提起されました。

令和8年(2026年)のワールドカップは、6月11日から7月19日まで、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3か国共同で開催予定です。史上最大の48か国が参加し、日本も8度目の出場が決まっています。1カ月余りの熱戦に世界中が沸き立つことでしょう。同時に、人種差別や移民の扱い、戦争や地域紛争など、開催国や参加国、選手らの人権問題が世界に問われることとなるでしょう。

ワールドカップを「チームや選手たちを応援し、他国の文化を尊重しながら、平和と人権について考え深める機会」にしたいと思います。